

# 認知症ともの忘れについて

もの忘れについて。皆さんの中にも「若い頃と比べると記憶力が落ちていて、最近もの忘れが多い」とお感じの方も少なくないかもしれません。しかし、加齢に伴う「もの忘れ」と、多くの認知症に伴う「もの忘れ」とは異なります。



本日の講師 医療法人すずらん会たろうクリニック院長 精神科医 医学博士 内田 直樹 先生

認知症の専門医として在宅医療に携わることから、福岡市を認知症フレンドリーなまちとする取り組みを行なっている。NPO地域共生を支える医療・介護・市民全国ネットワーク常任理事、みんなの認知症情報学会理事など、認知症や在宅医療に関わる団体において役職多数。最近では自らプログラミングを学び、テクノロジーの活用にも積極的である。

## 記憶の3段階「記銘」「保持」「想起」のどこで障害が起こっているかが「加齢」か「認知症」によるもの忘れかの違い



### 加齢によるもの忘れ

加齢に伴って想起が難しくなるためです。



長年生きていくと記憶の棚がエピソードでいっぱい！

**ここ！** 必要なエピソードをどこにしまったかわからなくなって思い出せない！

「記憶の棚の中にエピソードは残っているので、きっかけがあれば思い出すことができます。「久しぶりに会った人の名前が思い出せないが、言われると思い出す」といったことは皆さんも経験されるのではないのでしょうか。



### 認知症によるもの忘れ

記銘の段階の障害です。

**ここ！** 新しいことを覚えるのが難しい！！

昔のエピソードはそのまま棚に保存されています。

昔のエピソードは比較的思い出すことも可能です。

「昔のことをよく覚えているから認知症ではない」とは言えないのです。



「健康経営」はNPO法人健康経営研究会の登録商標です。

監修：医療法人すずらん会たろうクリニック院長 精神科医 医学博士 内田 直樹 先生



アクサ生命保険株式会社

〒108-8020 東京都港区白金1-17-3  
TEL 03-6737-7777 (代表)

www.axa.co.jp/

お問合せ先・担当者